

2021年度 学校評価のまとめ

2022.5.26

本園の【教育目標】の実現を目指し〔教育方針〕を実行するために、2021年度10項目の重点目標を定め、その達成のために具体的方策としてそれぞれの項目に実施計画を立てその遂行に努力した。

【教育目標】

1. 負けない心の太陽の子（つよく）
～自分の弱い心に負けないことが本当の強さであることを知る～
2. お友だちを大切にできる太陽の子（たたく）
～互いを尊重し、違いを認め合う心に正しい行動の源泉があることを学ぶ～
3. 明るく朗らかな太陽の子（のびのびと）
～主体的な遊びの中で生きる力を身につけていく～

〔教育方針〕

1. 創立者の願いと期待を伝える（教育目標1, 2, 3）
2. 一人一人の人格を尊重し、寄り添い続ける（教育目標1, 2）
3. コミュニケーション能力を養う（教育目標2, 3）
4. 自他共に大切にできる心を育む（教育目標1, 2, 3）
5. 日常生活や遊びの中で、社会性を高める（教育目標2, 3）

〔Ⅰ〕創価教育「最初の門」に相応しい3年保育内容の充実

1. 学園3大記念週間・3学期「ありがとう週間」の取り組みによる心の育成
2. 創立者著作の創作童話を読み聞かせ等、学年に応じて保育実践に展開
3. モットー、3つの指針、入園メッセージを学年に応じて保育実践に展開

4.8

4.3

4.1

【見解】 創立者の創作童話を日頃の保育実践に生かしている成果がうかがえる。モットーや入園メッセージも同様に生かされている。創価教育の核となる実践はしっかりと根付いていると感じる。

〔Ⅱ〕未来を創る教育課程（カリキュラム・マネジメント）の推進

1. 新入園年中児と進級年中児へのきめ細やかな保育実践を積み重ねる ～両児の関わりを軸に～
2. 卒園までに育てほしい「10の姿」を育む保育実践～心の根っこを育む大切な経験を考察～
3. 「子どもの主体的な遊びや活動を通しての学び」を育む保育実践を探究
4. 共通時間帯・なかよしタイム（縦割り・学年タイム）の実践的財産を共有し積み上げる
5. 各種行事再編成と現行の保育内容の精選を推進

4.2

4.2

4.4

4.2

4.1

【見解】 遊び中心の保育が定着しつつある。子ども達の主体性を大切にしながら、遊びの中で「何が育っているのか」を見極め、共有していくことで教員同士のスキルを高め合っていきたい。カリキュラムは、現実に即して改善し続ける柔軟性が望まれる。

〔Ⅲ〕世界に開かれた心を育む幼児教育の充実

1. 海外幼稚園・姉妹校交流・創大生創価幼稚園訪問団との交流の充実
2. グローバルタイムの充実（海外からの来園者との交流）
3. 専門講師によるインターナショナルタイムと日常保育の連動 ～挨拶の言葉を軸に～
4. 体操教室を軸に年間を通じた基礎的な体力向上の取り組み推進 ～重点取り組みの設定～
5. 食育指導の充実
6. 自然環境教育の推進（池田自然広場・園庭の植栽を通して）

3.7

4.1

4.1

4.2

4.1

4.1

7. 伸びやかな絵画制作と創造性育む制作活動の推進

4.0

〔見解〕 創大とのリアル交流が再開されない状態が続いている。Zoomでの交流は一定の成果を得ているが、リアルの感動を超えることは難しい。感染症の収束を祈るのみである。グローバルタイムでは昨年の反省を生かして、良い実践ができていた。

〔IV〕 豊かな心を育む絵本教育の充実

1. 絵本環境の充実

4.2

2. 「豊かな心を育む物語・絵本から広がる保育」の深化と具体事例を積み重ねる

3.7

3. 創立者の創作童話の読み聞かせや総合的展開を各学年で充実

4.1

〔見解〕 絵本での保育の評価が若干低い。課題は何なのか？ 改善策はあるのか？ 評価項目内容が適切なものか？ 検証が必要と思われる。絵本環境の充実と創作童話の読み聞かせはさらに向上させていきたい。

〔V〕 「安心・安全」教育・施策の充実

1. 通園バス無事故運行と「れんらくアプリ」の更なる充実

3.8

2. 園児バス乗車時想定訓練の充実（バス事故・車内嘔吐等への教員実地訓練）

3.6

3. 園舎内外・通園バスにおける冬季安全策の充実 ～バス運転手・警備員との連携強化～

3.8

4. 自然災害や防犯を想定した総合的な防災安全計画・防災教育、机上訓練の充実

3.8

5. 健やかな心身を育成する屋内遊具の充実（冬季を軸に）・年齢に即した屋外遊具安全性の向上

4.3

〔見解〕 5以外は、全て昨年より評価の下がった項目である。問題点を明確にし、改善策を実行していきたい。そのためにも具体的意見が求められる。バス業者への要望があれば、係を通して引き続き交渉していきたい。

〔VI〕 寄り添い伸ばす個別支援教育の充実

1. 家庭訪問(電話)・個人面談(電話)・子育て相談等で保護者との共育推進 ～就学前相談の充実～

4.2

2. シェアタイムを軸にした情報・目標共有によりチームとしての育成推進

4.1

3. 訪問支援員を軸にしたデイケア・専門機関（医療機関等）・就学先への円滑な連携

4.4

4. 特別支援研修会への派遣と研鑽成果の園内共有の推進

4.1

〔見解〕 「おがる」との連携が功を奏し、特別支援の助言から保護者支援まで広がっている。今後は「教育講座」の開催を実現させたい。そついう中で我々も学びながら、保護者へアドバイスができるようスキルを身に付けていきたい。

〔VII〕 就学連携・卒園生支援の充実

1. 幼保小連携推進協議会・就学先・各種デイケア機関を軸とした就学連携の充実

3.9

2. 就学前の「学びの姿」を育成する教員研修と保育実践の積み重ね

3.8

3. 東西創価小学校への教員研修で、就学時子ども像を多角的に研鑽

*

4. 卒園生大会の充実

4.5

〔見解〕 卒園生大会を実施できたことは大きな収穫であった。来年度も開催可能な状態であることを祈りたい。「学びの姿」との繋がりを意識しながらの保育実践が望まれる。就学連携についての課題を明確にして、改善していきたい。

〔VIII〕 豊かな幼児期を支える子育て支援の充実

1. 就園前教室ニコニコひろばの充実 ※2021年は開設しない

*

2. 延長保育「ひつじっこクラブ」の運用充実

4.1

3. 保護者相談の充実

4.2

〔見解〕 就学前教室は、園児募集のあり方含めてリニューアルする必要性を感じる。見学会の方法と合わせて再検討を要する課題である。延長保育は、新たな教員体制で安全を確保したい。時間延長も時代の要請と考える。

〔IX〕 園児募集を推進する広報活動の充実

1. 見学会・説明会の充実 ～広報活動充実と入園案内との連動を軸に～

3.9

2. 地域開催の「家庭教育懇談会」への協力

*

3. 3月の園児追加募集の適正実施

4.1

4. 地域の幼児教育に貢献する諸施策を推進 ～みらいっこのびのびランドの推進協力～

*

〔見解〕 就園前教室と見学会の共通目的を時代に合わせた形で作っていききたい。具体的には日常の保育の様子を就園前の保護者が見学できる「新しい幼稚園見学会」を実施し、ニーズに応じていけるようにしていきたい。

〔X〕 未来社会担う幼児育成に相応しい教育環境整備をプランニング

1. 教育目標実現のためのきめ細やかな協議検討

4.1

2. 新園舎の環境を生かした新しい遊び文化の計画

4.4

〔見解〕 新しい創価幼稚園の保育の構築を目指して、学年会議・学年主任会議で検討を重ねてきた。創立者からいただいた新園舎の環境を最大限に生かしていくために、継続的な協議をしながら心の根っこを育てる新しい遊びを模索していきたい。

◆各項目5段階評定の目安

A（5）…取り組みが充分に進んだ／充分な取り組みが出来た

B（4）…取り組みがある程度進んだ／ある程度しっかり取り組めた

C（3）…取り組みが少しは進んだ／取り組みが進んだ部分もあった

D（2）…進んだ取り組みもあれば後退したものもある

E（1）…取り組みが後退した／これまでに比べて取り組みが出来なかった

◆園内評価実施にあたって

1) 上記の各項目評定は5段階とし、記述評価と共に全教職員で実施した。

2) 自己評価にあたっては、2月に全保護者を対象としたアンケートを実施し、保育の重点や子育て支援等についてご意見を伺い、園内評価委員会にて、課題と今後への取り組みに反映させた。

◆第三者評価委員の皆様からの評価

2021年もコロナ禍で開催できなかった。来年度は夏以降に開催予定。弁護士・公立小学校管理職経験者・地域民生児童委員の皆様より講評、助言を頂いていく。

◆学校関係者評価委員の皆様からの評価

保護者・守る会・卒園生それぞれの立場から、本園に対する過分な感謝との言葉をいただいた。コロナ禍によって行事中心から遊び中心の保育への転換が加速されたと感じるとも。これからも発展し続ける創価幼稚園の使命の大きさに期待を寄せられていた。

◆財務状況

5月度評議員会・理事会により、最終、適正であると認めて頂いた。